

# エルミターージュ美術館の分館誘致を見送りました。

県民の皆さまに、世界トップレベルの芸術作品に触れていただくとともに、県内外からの集客による本県の新たな魅力づくりに向けた取り組みとして、エルミターージュ美術館の分館設置など同館との交流のあり方について検討を進めてきました。

しかしながら、分館の設置については、施設整備費や運営費に多額の経費を要することなどさまざまな課題があることから、誘致を見送ることとしました。

## どんな検討をしてきたのですか

エルミターージュ美術館から情報を収集するとともに、さまざまな交流事業を実施しました。

平成11年度	県立美術館などの文化施設の活性化を検討する中で、エルミターージュ美術館に分館設置構想があることが分かりました。
平成14年度	外部の有識者からなる国際的芸術文化拠点整備構想策定委員会から、エルミターージュ美術館の分館などを核とした芸術文化拠点の整備について、早期に検討に取り組むよう提言を受けました。
平成15年度	交流の一環として、ロシア・サンクトペテルブルグ市建都300周年記念祭に参加しました。 その際に、これまでエルミターージュ美術館との間でどのような交流が可能か検討を重ねてきましたが、今後、交流の内容を検討すること、その一部として平成17年度の開催をめどに企画展開催の協賛を進めることを確認しました。
平成16~17年度	企画展、交流事業を実施しました。 企画展 ・偉大な「エルミターージュ美術館」展（県立美術館、平成18年1月~4月） 交流事業 ・エルミターージュ美術館副館長、学芸員による講演会 ・エルミターージュ美術館オーケストラによる演奏会 ・平和ポスター・絵画展、青少年向け絵画セミナー、トークコンサート
平成18年度	これまでの交流事業などの総合的な検証を実施し、今後の方針を検討しました。

## どんな視点で検証したのですか

エルミターージュ美術館との交流事業や企画展、来館者アンケート調査（回収数3,479枚）をはじめ、エルミターージュ美術館展ほかの類似の企画展をもとに、企画展の評価や費用対効果、分館設置の収支見込みなど、さまざまな視点から総合的に検証を行いました。

今後も、優れた芸術作品に触れていただく機会を提供します

県立美術館は、都市型美術館としての特性を活かし、優れた展覧会を開催するなど、全国的にも高い評価を受けています。今後も、これまでと同様に、エルミターージュ美術館展を含む海外美術の巡回展を県立美術館で開催することによって、県民の皆さまに優れた芸術作品に触れていただく機会を提供していきたいと思っております。

お問い合わせ／企画調整局 ☎082(513)2411 FAX)082(212)4025

## 【検証結果・課題】

企画展について ▶ 多様な芸術作品に触れる機会を提供する必要があります

- 展示作品はエルミターージュ美術館が選定しました。
- 総入館者数は7万2,491人でした。（入館見込者数は12万人）
- 県の負担は当初約7,000万円を見込んでいましたが、結果として約1億円に増えました。

### 【アンケート調査結果】

- ・展示内容には8割の方がプラス評価（とても良い・良い）をされていましたが、次回以降の鑑賞希望は6割留に止まりました。
- ・県立美術館で開催したほかの主な海外美術展の評価では、「とても良い」の割合が今回の企画展よりも高くなっていました。
- ・今後の鑑賞希望として洋画、日本画、工芸などさまざまな分野や作家が挙げられました。

広域集客について ▶ エルミターージュ美術館の分館設置は、広島県の魅力づくりにつながりにくくなっています

【アンケート調査結果】 県外からの来館者の割合は、県立美術館で開催したほかの主な海外美術展よりも低くなっていました。

## 情勢変化

希少性・独占性がなくなってきました  
近年、国内各地でエルミターージュ美術館展が開催されており、特に最近5年間は、7つの展覧会で全国延べ18か所上っています。

運営収支について ▶ エルミターージュ美術館の分館運営には課題が多く、厳しい状況にあります

●分館設置収支シミュレーション(単位:千円) 美術館と企画展(中央)と同じ2か所間の企画展(200)を併催した場合

	県立美術館県民ギャラリーを改修した場合	旧被服支庫建物(南区出汐)を改修した場合
運営収支の見込み(年間)	収入 162,320 支出 657,741 収支差額 ▲495,421	収入 162,320 支出 679,711 収支差額 ▲517,391
初期投資額(概算)	約1~2億円	約13~19億円
課題	ギャラリー代替機能の整備など	建物の構造補強など

## 情勢変化

作品使用料 以前、エルミターージュ美術館は、入館者1人につき1米ドル、最低保障を年間15万米ドルとする算定方法（アムステルダム・センター方式）で良いとしましたが、近年、その方法は廃止されています。そのため、今回の企画展においても、当初エルミターージュ美術館から相当多額な作品使用料が提示されましたが、粘り強く交渉を重ねた結果、50万米ドルで合意しました。

これまでの巡回方式の海外美術展について ▶ 開催方法として適当だと考えられます

県立美術館で開催したエルミターージュ美術館展を含む海外美術展は、いずれも来館者から高い評価を受けており、多くの展覧会で経済合理性も高くなっています。

交流事業について ▶ 将来、民間中心の双方向型交流が行われることになった場合に、支援などを検討することが適当だと考えられます

将来、民間中心の双方向型交流が行われることになった場合に、支援などを検討することが適当だと考えられます

## 情報 12月のお知らせ バラエティー

お問い合わせ先電話番号 ☎ 消印有効  
県政もみじファクスのボックス番号  
県政もみじファクスは年末年始(12月29日~1月3日)はご利用になれません

情報は県政もみじファクスでも取り出せます。受話器をあげ、082(224)1122をダイヤル。音声に沿って、☎の5けたのボックス番号を入力してください。なお、聴覚に障害のある方などで、ご利用が難しい場合は、メールまたはファクスで県庁広報室までご連絡ください。

1月25日(木)・26日(金)/第二看護学科:1月24日(水)  
●願書受付/1月4日~15日 酒  
●ところ・申込・問合せ/県立三次看護専門学校 ☎0824(62)5141 ☎20092

## 募集

「仕事と家庭の両立支援企業TVスポット広報」企業募集  
●内容/両立支援に取り組む企業をテレビで紹介・PR。放映を希望する企業を募集中(5社)  
●放映時期/平成19年3月。1企業約1分間の番組を2回放映  
●対象/一般事業主行動計画を策定し、両立支援に取り組む、県内の従業員300人

以下の企業  
●応募締切/平成19年1月末  
●申込・問合せ/労働福祉室 ☎082(513)3419 ☎47004  
子育て応援イッちゃんサービス参加企業・店舗  
●内容/小学校6年生までの子どもをお持ちの家庭を対象にサー

ビスを提供していただく「子育て応援イッちゃんサービス」参加企業・店舗を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください (http://www.yumezaidan.or.jp/ouantai/)  
●問合せ/子ども夢プラン推進室 ☎082(513)3171 ☎12121

## 試験

美容師・美容師国家試験  
●試験種類・とき・ところ/実技:理容=1月29日(月)~広島県理容美容専門学校(広島市中区国泰寺町)、美容=2月5日(月)~マインドビューティーカレッジ(広島市中区大手町)/筆記:3月4日

(日)県立広島大学広島キャンパス(広島市南区宇品東)  
●願書受付/12月11日~15日 酒  
●申込・問合せ/理容師美容師試験研修センター ☎082(296)1655 ☎20007  
県立三次看護専門学校 入学試験(一般入試)  
●試験種類・とき・第一看護学科:

県の人口 2,875,488人 (43031 (昨年同月より1,154人減)) 世帯数 1,159,140世帯 (昨年同月より13,589世帯増) 男 1,389,961人 女 1,485,527人 平成18(2006)年10月1日現在 出典:広島県人口移動統計調査

県民だよりは、市区町役場や県地域事務所の窓口にも備え付けています。また点字版や録音テープ版も発行しています。県民だよりの送付を希望される場合は県庁広報室までご連絡ください。●次号は1月1日に発行します。●県民だよりは1,090,000部作成し、その経費(制作、配布)は、1部当たり9.07円です。

「県民だより」に関するご質問、ご要望などございましたら、県庁広報室までお寄せください。〒730-8511 広島市中区基町10-52 ☎082(513)2372 FAX)082(228)4429 soukouhou@pref.hiroshima.jp